

令和2年3月1日

当院で心臓弁膜症の手術を受けた、または今後受けられる患者さん・ご家族様へ

### 研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】平成27年4月～令和6年3月の間に、当院で心臓弁膜症（大動脈弁疾患、僧帽弁疾患、またはその両者）で入院し、手術を受けた方

【研究課題名】心臓超音波検査を用いた心臓手術周術期における左心機能と右心機能の相互関連についての検討

【研究責任者】国立循環器病研究センター 輸血管理部 部長 吉谷 健司

【研究の目的】心臓弁膜症手術後の右心室機能に関する因子を調査します。良好な右心室機能は術後の順調な経過に重要と考えられていますが、現在も詳細は解明されていません。本研究において右心室機能へ影響する因子が明らかになれば、今後同じ手術を受ける患者さんの手術リスクを事前に予測できる可能性があります。

#### 【利用する診療情報】

身長、体重、年齢、性別、診断名、心不全重症度分類、術前心臓外科リスクスコア、手術法、基礎疾患、既往歴、血液検査（肝機能検査、腎機能検査、心機能検査を含む）、放射線画像記録、カテーテル検査記録、手術記録、麻酔記録、人工心肺記録、心臓超音波検査、外来診療記録（処方薬を含む）

【研究期間】研究許可日より2026年3月31日まで

#### 【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

この研究で得られた情報を将来、心不全の研究のために再解析し二次利用する可能性があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。同意取得の手続きとしては、オプトアウトの機会を設ける場合などがあります。オプトアウト文書を、国立循環器病研究センター公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp/>) の「実施中の臨床研究」のページに公開いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 麻酔科 担当医師 伊藤 慎也  
電話 06-6170-1070(代表)